

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和4年度）

施設の名称	名取市那智が丘児童センター
指定管理者の名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
施設所管部課（室）	健康福祉部こども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
平成9年5月1日～平成23年3月31日 (H9.5～H16.3増田西児童センター分館) (H16.4～H23.3ゆりが丘児童センター分館)	直営		
平成23年4月1日～平成25年3月31日	管理受託	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ	
平成25年4月1日～	指定管理者	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ (H29.8.3名称変更 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ)	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
	所在地	名取市みどり台三丁目19番地の4
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年0ヶ月）	
募集方法	公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市那智が丘児童センター
所在地	名取市那智が丘二丁目1番地の2
設置年月	平成23年4月（那智が丘児童センターとしてセンター化）
根拠条例等	名取市児童厚生施設条例、名取市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例、名取市放課後児童クラブ実施条例、名取市児童館管理規則、名取市放課後児童クラブ実施条例施行規則
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするため児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設を設置する。
施設の内容	静養室、創作活動室、集会室、図書室、クラブ室、交流スペース、遊戯室等
開館時間	月曜日～金曜日：午前9時（小学校等休業日は午前8時）～午後7時
休館日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
指定管理者が行う管理運営業務	放課後児童クラブ業務、自由来館業務、地域子育て支援事業（一般型）、地域子育て支援事業（出張サロン）、地域活動クラブ業務、相談業務、各種行事及びクラブ活動の実施、自主事業の実施、児童センターだよりの発行（月1回、原稿等の企画構成）、小学校への長期休業時の利用周知
利用料金制度	採用の有無 有 ・ 無
	利用料金の名称

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
開館日数	293日	294日	292日	99.7%
延べ利用者数	13,623人	12,724人	11,801人	107.1%
利用者数 (人/日)	46.5人/日	43.3人/日	40.4人/日	107.4%
主な増減原因	コロナ禍においても感染対策を行いながら可能な活動を行ってきた為			

(注) 対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

(1) 収入

(単位：千円、%)

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
指定管理料	22,349	22,260	22,260	100.4%
利用料金収入				
その他	1,462	1,120	2,278	130.5%
収入計 (ア)	23,811	23,380	24,538	101.8%

(2) 支出

人件費	17,026	17,396	17,943	97.9%
施設管理費	1,962	1,736	2,160	113.0%
事業運営費	3,677	3,689	2,875	99.7%
その他	1,146	559	1,517	205.0%
支出計 (イ)	23,811	23,380	24,495	101.8%

(3) 収支

収支 (ウ) = (ア)	0	0	43	0.0%
- (イ)				
前期繰越収支差額	2,875	2,875	2,832	100.0%
次期繰越収支差額	2,875	2,875	2,875	100.0%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

感染症対策を行いながら利用者が不便を感じないようにできることを行ってきた。地域交流に関しては2年の感染症対策のノウハウを活かしながら地域の交流を一步取り戻したように感じる。イベントに関しては例年より規模を広げて開催できた。

日常においても遊びを通じた健全育成・育成支援を推進し、児童が楽しんで活動できる環境を十分に提供できた。また児童の期待に応える遊びの体験・活動を目指し、平常時に勝るとも劣らない経験をさせることに尽力した。

児童の遊びの選択肢を増やすこと、特に外遊びなどの活動の充実化を図り、児童の体力向上と知的好奇心を刺激することができた。またモルモットの飼育をはじめ、幼児から中学生まで児童のよき友人の役割を果たしてくれたと共に、児童が積極的に飼育に携わることによって、生態や命について学ぶ機会を得られた。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

コロナ禍で学校などでの活動が制限されていく中、児童センターでは可能な範囲で積極的に児童の育ちに即した活動を行ってくれるという意見が多々あった。また、家庭ではできないことをいつも体験させてもらえることに感謝している、と言う意見も多数頂戴した。

活動に反対したり、慎重になるようにと言う意見はなかったもので、その様に考えている家庭では参加や来館を控えるなどと各自で選択をしているのではと感じた。活動に関して前向きな意見が多かったので、後押しされるように活動を行った。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

子育て支援拠点事業について地域に乳幼児人口が少ないことから、他地域（仙台、名取街側、亘理、柴田など）からの利用者が多いので、近隣地域からの利用者を想定し、将来的に那智が丘での子育てを選択肢に加えてもらうように行事や普段使いなどを設定したが、昨年度に比べて半数近い利用者の減少があった。

支援利用に関してのピーク世代である1、2歳児が生まれた頃からコロナ禍であるということに起因していること、また街部では利用者がだいぶ回復しているようであるので、人口が少ないということも相まったことなどが利用減少の理由の一因ではないかと推測する。今後は支援世代の利用者増に向けて対策を講じていく必要を感じた。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	◎	◎
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
	2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○
業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。			○	○
自主事業の 実施		施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	◎	◎
利用者の満足 度向上		利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	◎	◎
利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応		利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
利用状況等		利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「—」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

焚火体験などの地域の環境を生かしたイベントや、小動物とのふれあいなど、家庭では体験の難しいこともできるといことで子ども達が楽しく過ごせるよう工夫や取り組みが多くみられる。また保護者も子どもがのびのび過ごせていると感じる意見が多くみられた。
今後も、利用者のニーズを反映した事業の展開と、利用者の満足度向上に取り組むことを期待している。